

# 日本庭園学会ニュース

*The Academic Society of Japanese Garden News*

NO. 67  
平成 23 年

予告 平成 23 年度関西大会

発行 日本庭園学会 (会長 藤井英二郎)  
〒 150-0041 東京都渋谷区神南 1-20-1  
(有) 造園会館気付  
TEL(03)-3462-2850 FAX 03-3464-8465  
<http://www.soc.nii.ac.jp/asjg/>



# 予告 平成23年度関西大会・研究発表会

## 平成23年10月22・23日 京都市

企画委員会関西大会運営担当（委員長 鈴木誠・副委員長 仲隆裕）は、平成23年度関西大会の開催スケジュール及びシンポジウムのテーマを決定した。

開催日程は、平成23年10月22日、23日の2日間。1日目は、学会賞授賞式並びに記念講演、名勝清風荘庭園の見学会が開催され、終了後には懇親会が予定されている。見学会では、平成19年度より実施されている修理事業の関係者による修理の詳細についての解説がある。併せて、昨年度日本庭園学会賞を受賞された、京都造形芸術大学教授尼崎博正氏による記念講演が行われる。

2日目は午前中にシンポジウム、午後に研究発表会が行われる。シンポジウムのテーマは「文化財庭園の保存管理の体系化へ向けて」である。文化財庭園の保存管理の運用の方法、恒常維持管理・修理の記録方法・技能の継承等、これまで指標が十分に構築されてこなかった文化財庭園の保存管理について、その体系化の試みについ

て事例発表、パネルディスカッションが行われる。

なお、今後関西支部研究会で刊行を予定している文化財庭園の保存管理ハンドブック（案）がシンポジウム資料になる。

会場は、見学会が名勝清風荘庭園、シンポジウム・研究発表会が京都市職員会館かもがわである。詳細については次号の本紙（No.68）で案内する。 ■



修理事業中の名勝清風荘庭園

## 大会概要

会場 京都大学 名勝清風荘庭園（京都市左京区）  
京都市職員会館かもがわ（京都市中京区）

日時 平成23年10月22日（土）、23日（日）

### 第1日（22日）

12:45 見学会 受付開始（清風荘西側玄関）  
13:00 見学会 開会の挨拶  
13:05 日本庭園学会賞 授賞式  
13:15 受賞記念講演 尼崎博正氏  
14:15 清風荘庭園 見学  
15:15 清風荘庭園修理事業の紹介  
17:00 見学会 終了  
懇親会

### 第2日（23日）

8:30 受付開始  
9:00 開会・シンポジウム開始  
12:00 シンポジウム 終了  
昼食・理事会  
13:30 研究発表会 開始  
16:30 研究発表会 終了  
16:40 総括  
閉会

### 参加費

会員：500円 非会員 3,000円  
資料代：2,000円 ■

## 研究発表会 発表者の募集



平成 23 年度全国大会の研究発表風景

研究会実行委員会では、10月23日（日）に行われる研究発表会の発表者を募集している。

発表時間は、研究発表 20～30分、質疑応答 5分 を予定している（変更する場合あり）。また、発表には PC プロジェクターの使用が可能。スライドプロジェクターの使用は不可となっている。

発表を希望する方は、A4判用紙に発表者の氏名、題名、概要（200字程度）、発表時に使用を希望する機器類、連絡先を明記のうえで、9月30日（金）までに関西大会運営担当へ送付し発表の登録をして頂きたい。

発表者は、続いて10月7日（金）までに研究発表資料を関西大会運営担当へ送付されたい。研究発表資料の分量は、A4判で分量は2ページか4ページ、6ページのいずれか。1ページあたりの文字数及びページレイアウトは、学会誌の論文の書式に準じ、横書き2段組、1段あたり25字40行となっている。なお、書式はホームページからダウンロードが可能となっている。

申し込みと資料提出の締め切り日は厳守のこと。

### ▼発表の申込み先・発表要旨の提出先

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都造形芸術大学日本庭園研究センター気付

日本庭園学会関西支部事務局

FAX(075)791-9342

## 第2回見学会 国指定名勝 高梨氏庭園

見学会実行委員会では、平成23年9月10日に下記の日程で、平成23年度第2回の見学会および研究会を開催することになった。多数のご参加を期待する。申込先は、次ページの研究会の案内に併せて掲載。

日時 平成23年9月10日(土) 13:30～15:30  
※上花輪歴史館集合・解散

会場 国指定名勝「高梨氏庭園(上花輪歴史館)」

住所 千葉県野田市上花輪507 ☎04(7122)2070  
(最寄駅) 東武野田線「野田市駅」下車、徒歩約15分

会費 入館料500円(高梨家当主から解説を頂きます)

概要 高梨家は、江戸への醤油流通の一大生産地であった野田で、キッコーマンを創業した茂木家と共に、中心的な役割を果たした大店です。

平成13年に家屋や蔵、庭園が国の名勝指定を受け、本年3月、6年に亘る修復工事が完了し、再公開の運びとなりました。

参考 近隣には下記の文化施設があります。あわせての見学もお勧めです。

・旧茂木佐平治邸

(野田市市民会館：野田市野田370-8)

※キッコーマン創業者茂木家から移築された建物と、そして庭園が、国登録文化財(記念物)となっている。隣接する野田市郷土博物館で管理運営。

・野田市郷土博物館(野田市野田370-8) ☎04(7124)6851

・キッコーマンもの知りしょうゆ館(野田市野田110) ☎04(7123)5136

※事前予約制により、約1時間程度の見学可能(2名から)。

・キッコーマン煉瓦蔵(野田市上花輪555)

※上花輪歴史館に隣接。見学可。



国指定名勝 高梨氏庭園

(<http://www.kanko.chuo.chiba.jp/kanko/3859/> より転用)

### 今後行われる見学会

見学会実行委員会では、平成23年度中に残り2回の見学会を予定している。

まず10月30日(日)の11:00～16:00からは、京都造形芸術大学教授の仲隆裕氏ほかの案内により、名勝多賀大社庭園と名勝玄宮楽々園を会場とする見学会が実

施される予定である。

追って冬期には、高瀬要一氏の案内により、名勝琴ノ浦温山荘の見学会が予定されている。

ふるってご参加頂きたい。いずれも詳細は、次号以降の本誌もしくは当会ホームページにて案内する。

※広報委員会では、見学会にご参加頂いた方の感想文を募集しております。会誌の充実をはかる為にも、ご協力のほどよろしくお願ひします。



# 研究会 大名庭園における鉢植えや盆栽芸術

日時 平成23年10月1日(土) 13:30～15:30

※会場に集合・解散

会場 豊島区立勤労福祉会館会議室(部屋は8月1日の抽選会で決定予定)

豊島区西池袋2-37-4 勤労福祉会館 ☎03(3980)2351

※(最寄駅) JR山手線・東武池袋線・西武池袋線・東京メトロ丸の内線ほか「池袋駅」西口下車、徒歩約7分

講師 さいたま市大宮盆栽美術館主任学芸員 平野恵氏

概要 『19世紀日本の園芸文化』、『温室』などの著者、平野氏を講師に迎え、花卉栽培をはじめとする園芸文化、特に大名庭園などにおける鉢植えや盆栽芸術のお話を頂きます。豊島区は「ソメイヨシノ」発祥の地であり、研究会終了後は、勤労福祉会館7階の豊島区立郷土資料館にて「植木の里・染井」に関わる常設展示を見学予定(入館料は無料)。

見学会・研究会の申込先 文京ふるさと歴史館 加藤

Eメール Motonobu\_Katoh@city.bunkyo.lg.jp

もしくは ☎03(3818)7221・ファックス 03(3818)7210へ

## 報告 平成23年度 全国大会

平成23年6月11日

平成23年6月11日東京農業大学世田谷キャンパスにて、日本庭園学会全国大会が行われた。震災の影響により日程や開催地の変更があった旨報告が行われた上で、9名による研究発表がなされた。

まず河原武敏氏により中国庭園における太湖石の用途や配石の特徴、産地、また保存された例などの発表があった。同様に造園材料を題材として、鈴木氏によって主に東京において富士講の富士塚や護岸として使用されたクロボク石の産地や用途についての発表が行われた。時代による評価の変遷についてや、コンクリートとクロボク石の合わさった構造物など、多くの事例が写真とともに紹介された。

次に増野晋次氏により、史跡大内氏館跡池泉庭園の平成22年度に行われた整備工事、および発掘調査成果について報告があった。池泉跡周辺において、建物跡やかまど跡をはじめ多くの遺構が検出されているなど詳細な調査報告を受け、活発な質疑応答が行われた。作庭事例報告としては、病院における園芸セラピーガーデンの設計施工を行った田中惇氏より報告があった。その中では

稲を植えたことによる利用者の反応の差異など、完成後のガーデンの利用について等、具体的な報告がなされた。

また近代庭園と対象とした発表として、正田実知彦氏より作庭家である佐崎可村についてその作庭事例、交流関係とともにその文人的、煎茶趣味など特徴を述べられた他、村岡香奈子氏により明治期における庭園と英国風景式庭園のデザインを比較した上で、その影響について発表がなされた。また足立佳代氏からは足利市に位置する近代の邸宅庭園について、その庭園構成とともに地元の造園技術者らによる保存修理の報告が行われた。

次に古庭園を対象としたものとして、杉尾伸太郎氏により龍安寺方丈庭園について、前回発表した内容を深めた形で、その作庭意図についての研究成果報告がなされ、中国私家庭園拙政園について孫旻愷氏より、その成立と変遷、庭園の構成等について述べられた。園内の各景について書かれた史料から、各景の利用形態についての考察を行った内容が報告された。造園材料をはじめ発掘整備、作庭事例、近代庭園、日本内外における古庭園など多くの領域からの発表となり、庭園を考えるときに多角的な視野を持つておく必要のあることを改めて気づかされるものであった。引き続き多くの領域から発表がなされ、活発な議論が行われる会となることを期待します。

木下紘子(京都造形芸術大学大学院)

## 庭園に関する新しい取り組み

「ひょうごの名園を考える会」

ひょうごの名園を考える会の立ち上げまで

副代表・事務局長 林まゆみ

兵庫県には、多くの貴重な庭園が存在している。筆者は、ここ数年にわたって、生涯学習講座で、「ひょうごの名園を巡り、地域を知る」という講座を企画・運営してきた。多くの名園を庭園史家の西桂先生の協力を得て回った。そこではよく手入れされた素晴らしい庭園がそのまま残っているところから、庭園自体の存在があやぶまれるようなところまで、様々な庭園が目にされた。講座を開催するうちに、ぜひ兵庫県内にある名園をよりよく保全・活用していけるようなゆるやかなネットワークを作りたいと考えるに至った。

同時に約100カ所の庭園所有者や管理者に庭園の現状やこれからの展望などについてのアンケートを送付し、65通の有効回答を得た。庭園の管理状況に関しては、半数以上が「良い」、「まあまあ良い」と回答を得たが、「良くない」や「あまり良くない」は、合わせて4分の1程度存在した。管理費用は半数以上が50万円以内で、費用を削りながらも、工夫しながら維持されている様子が伺われた。その他、近隣環境の変化や気候変動による問題などの課題も数多く抽出された。ネットワークによる組織づくりに関しては、かなりの回答者が肯定的で、調査やヒアリングを経て「ひょうごの名園を考える会」の発足へと至った。

2010年4月24日に第1回研修会、12月12日に第2回目、そして2011年5月14日に第3回目の研修会及び総会を開催し、規約や世話人を決定して正式な会として発足した。世話人代表は西桂氏、会員数は約60名である。庭園の所有者や管理者、行政、研究者や実務家、そして一般市民も交えた多様な人材が集まる会となり、今後の活動が期待される場所である。

(兵庫県立大学／淡路景観園芸学校)



朝来市和田山光福寺の庭園。壮大な庭園だが崩落も



宝塚市清澄寺における第1回研修会



南あわじ市神宮寺の庭園、斬新な石組みが見られる



第1回研修会の参加者による話し合い

## 庭園情報・図書紹介

## &lt;文化財庭園調査報告書&gt;

・『特別史跡及び特別名勝 醍醐寺三宝院庭園 保存修理事業報告書 I<園池編>』、宗教法人醍醐寺、2011年3月発行

※平成12年度から平成21年度にかけて行われた特史・特名 醍醐寺三宝院庭園の修理工事報告書。一般には販売されていない。一部の国公立図書館等で閲覧可能。

・『大内氏館跡 XI』(山口市埋蔵文化財調査報告第101集)、山口市教育委員会、2010年発行

※大内氏館跡の史跡指定地南東部で発掘された池泉庭園を中心とする調査報告のほか、土師器皿の製作技法と編年、館の変遷過程についての考察3本を収録。山口市歴史民俗資料館窓口で頒布するほか、郵送で注文も可。送り先と冊数を明記のうえ、現金書留あるいは定額小為替にて価格と送料の合計額を送付のこと。定価2,400円 送料1冊450円。問合せ先:山口市歴史民俗資料館:〒753-0073 山口市春日町5番1号 電話・ファクス 083-924-7001

## &lt;新刊書&gt;

・ロレイン・ハリソン(著)・小坂由佳(訳):庭園の謎を解く(GAIA BOOKS)、産調出版、2011年3月発行、1,995円

・萩原義雄(著):日本庭園学の源流『作庭記』における日本語研究—影印対照翻刻・現代語訳・語の注解—、勉誠出版、2011年3月発行、12,600円

・須長一繁:和モダン庭園の手法、誠文堂新光社、2011年4月発行、3,150円

※広報委員会では、図書紹介等に掲載する情報を募集しております。会誌の充実をはかる為にも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 庭園の特別一般公開

## 南禅寺塔頭 大寧軒

京都・東山の麓に位置する、南禅寺の塔頭大寧軒は、琵琶湖疏水を引き入れた露地を伴う庭園である。流れを伴う池中に配された三柱鳥居が特徴的である。

元は個人の邸宅に伴うものであったが、明治期の上知以前の所有者であった南禅寺本山の所管となった。現在、京都市観光協会が主催する「第36回京の夏の旅」により特別公開されている。

公開期間 平成23年7月9日(土)～9月30日(金)

公開時間 10:00～16:00(受付終了)

拝観料 大人 600円/小学生 300円

問い合わせ 京都市観光協会 TEL/075-752-0227

(※公開に併せて案内が行われる)

(※写真撮影は不可)

交通

京都市営地下鉄東西線「蹴上駅」下車、1番出口から徒歩5分

## 庭園の修復完成記念一般公開

### 京都市指定名勝 遺香庵庭園

梅尾山中に造営された高山寺は、「鳥獣人物戯画」で著名な古刹である。

その境内に築かれた遺香庵庭園は、鎌倉期に同寺を再興した明恵上人の700年遠忌を記念して、昭和6年、7代目小川治兵衛（植治）によって作庭された露地である。平成22年度に地割と植栽を中心とした修復工事が行われた。

この秋、庭園の修復完成を記念して、京都市観光協会によって特別公開が実施されることになった。

公開期間 平成23年10月1日（土）～11月6日（日）

公開時間 11:00～16:00（受付終了）

拝観料 大人 400円／小学生 200円

※別途入山料（大人500円／小学生200円）が必要

#### 交通

JR・京都市営地下鉄 二条駅・京都駅よりJRバス「梅ノ尾駅」下車すぐ

京都市バス8号系統「高雄駅」下車、徒歩20分

## 会費納入のお願い

平成23年度の会費納入のお願いを全会員に送付しております。納入額をご確認のうえ、納入のほどよろしくお願い申し上げます。また、過年度滞納の方は併せて納入頂きますようお願いいたします。

## 表紙の写真

【国指定名勝 頼久寺庭園】

#### ■編集後記

本年度の全国大会は震災の影響もあり1日間での開催となりましたが、バラエティに富む研究発表が行われ、熱心な討議が行われました。会場を提供して下さった東京農業大学はじめ、関係各位にこの場を借りて御礼申し上げます▼同日開催されました平成23年度通常総会において、平成22年度の日本庭園学会賞は尼崎博正氏に授与されたことが報告されました。受賞記念講演は、本号でご案内の通り平成23年度関西大会にて行われます▼尼崎博正氏は京都大学農学部卒業後、庭師として活躍され現在も作庭に取り組む一方、京都芸術短期大学（現：京都造形芸術大学）で教鞭をとり、研究・教育者としても第一線で活躍してこられました。講演は、尼崎先生が現在修復指導中の清風荘にて行われます。小川治兵衛作庭にかかる名園において小川治兵衛研究の第一人者の講演を伺う絶好の機会です。ふるってご参加ください▼9月からは見学会・研究会など各種の催しが続々と予定されています。多数のご参加を期待しています(T.N)

■学会ニュースへの投稿や、本誌「学会ニュース」やホームページ作成に興味があるという方は、下記宛に郵送またはFAXにてご連絡頂けますよう、よろしくお願い致します。

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都造形芸術大学日本庭園研究センター 気付

日本庭園学会 広報委員会「学会ニュース」係

FAX(075)791-9342

編集長／仲 隆裕 編集・写真・構成／今江 秀史

協力／林まゆみ・木下紘子

### 日本庭園学会広報委員会

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都造形芸術大学日本庭園研究センター 気付

日本庭園学会関西支部事務局 FAX(075)791-9342